

石川県スポーツトレーナー連絡協議会

令和4年度第7回理事会 議事録

日 時：令和4年11月22日（火） 20時～20時40分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、橋場貴史、常盤和成、田中良和、宮川巖幸、守山成則、定池 寿、
西川典孝、俵 大輔、吉本真樹、村松僚太、石川真依子、樋口武史

－13名－（会長、監事、理事11名）

【議 題】

報告事項 1；令和4年度第6回理事会議事録

田中理事（総務部長）より、令和4年度6回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項 2；会計報告

宮川理事（会計）より報告。令和4年10-11月期の収支は認定継続料の振込み、マラソン事前研修の認定講習料、マラソン弁当代等。承認。

報告事項 3；金沢マラソン2022について

守山理事（トレーナー部長）より報告。トレーナー活動の運営に問題なし。各救護所の状況の説明を簡単をお願いしたい。情報共有を行い、次回事前研修会など活かしていきたい。

・ゴール横救護所（田中）

3名でトレーナー活動。68名の利用者。ほぼ筋痙攣。気分が悪い、吐き気などの対応もあり。筋痙攣が多くなった時間帯（4～5時間）で看護師も筋痙攣対応。なかなか収まらない筋痙攣をトレーナーと連携して対応。チームとしての連携はとれていた。救護所に慣れている看護師が多く準備から運営まで迅速な活動が印象的。

・第9救護所（吉本）

4名でトレーナー活動。106名の利用者（前回50名）。約4時間でゴールするランナーの利用が多かった。筋痙攣が多い。11時～13時がピーク。比較的待たせることなくスムーズに対応。低血圧症状で救急搬送1名。トイレの利用を希望するランナーが多く、トイレの位置が前回より遠くに設置。トイレの配置も次回への課題の一つと感じた。

・産展3号館救護所（石川）

2名でトレーナー活動。54名の利用者（筋痙攣・筋肉痛31名，出血・擦り剥き・マメ関係21名，気分不快2名）。多忙時期に筋痙攣1名が雨天走路救護所へ移動。13時過ぎから15時半が筋痙攣者のピーク。荷物を取りにきて安心し筋痙攣発症、車椅子で運ばれてくるケースが多かった。前半、時間が空いている時、手指消毒の声がけ。その時に痙攣しそうな方に体重をかけて歩き、止まらないように指導。救護所経験ある看護師が主導で救護所を使用しやすいようレイアウトを変えて活動。

・第7救護所（定池・西川・村松）

3名でトレーナー活動。16名の利用者（リタイヤ13名、レース復帰3名）。筋痙攣が半数。その他は膝痛や足痛。第6救護所が今回設置されていたこと、スピードの速いレースだったためか利用者が少なかった。リタイヤを前提に利用するため第9・10救護所くらいにトレーナーを集中した方が良いかも。

・第8救護所（俵）

3名でトレーナー活動。34名の利用者（トレーナー対応27名、リタイヤ12名、レース復帰22名）。8割が筋痙攣。AED隊と本部の連携がとれており、本救護所1km手前で動けなくなったランナーの連絡がAED隊から救護所にあり、担当ドクターと車椅子を持って俵理事が現場へ走るケースがあった。第8～9救護所の間で意識不明に陥ったランナーがAED装着時に意識を回復し救急搬送との報告あり（AED隊より）。

・雨天走路救護所（樋口・守山）

2名でトレーナー活動。9名の利用者。ゴール横、産展3号館救護所できっちり対応のため、非常に静かな活動だったと推測。レース全体の救急搬送数も格段に少なかったと公式発表。コロナ対応になりかけた例あり。車椅子で運ばれ体表面を2回計測38度。担当ドクターより腋窩で計測36度。時間をおいても同体温。大丈夫だろうという例があった。

守山理事より総括。今後は痙攣等の対応をどこまで行うかなども課題となるかも（筋痙攣は対応しないマラソン大会もあり）。そう考えると、以前実施していたゴール後のトレーナーブースも必要なのかもしれない。マラソン大会を重ねるごとに経験値が深まり自信を持って活動可能となってきた。今後、活動を外に報告として出していければいいと考える。

北岡会長より、大会後2・3日でコロナ発症の場合の報告システムはあるのか質問があり、あるとのこと。どこかの病院でマラソンに走った職員5名ほどが感染。打ち上げに参加した5名とのことで、参加しなかった人は感染しなかったようだとの報告。

協議事項 1；救急法講習について

田中理事より説明。現在、講習希望者8名。令和5年3月19日（日）午後開催でもう一度会員へ送付して人数を確定したい。

石川理事より、午後の木島病院体育館で他の予定が入っていないか確認する。

協議事項 2；令和4年度総会時 講演会講師について

田中理事より説明。講師候補の金沢学院大学 枝元香菜子氏に先週文章を送付し現在、返事待ち。返事が来たらメールに流す。

協議事項 3；その他について

・能登町体育協会（教育委員会）のテーピングの応急処置研修会講師派遣依頼

田中理事より説明。県スポ協の勝田氏より連絡。令和5年1月22日（日）に近隣の方で講

師の派遣をお願いしたい旨の連絡。本会会員で珠洲市の濱会員に連絡し予定を聞くと対応可能であるとのこと。濱会員に講師をお願いし、謝金等は、俵理事（学術部長）が津幡町スポ協でのテーピング講習の形でいけばよいと考えるがどうか。承認。

・ **スポーツ整形 Up to date WEB セミナー**

北岡会長より報告。座長を任されていたこともあり、スポーツドクター協議会、スポーツナース協議会、本会に案内を出す。約 50 名の参加。本会も 10 名ほど参加。いつも 10 名ほどの参加だったので主催者の第一三共製薬さんは喜んでいました。

・ **スポーツナース協議会スキルアップセミナー**

北岡会長より説明。第 2 回講習会時に開催。講師は林美希先生。女性アスリートの問題が演題となる。WEB 開催であり女性アスリートの話はあまり聴けないと思うので、勝田氏に連絡し、本会会員へ案内。

田中理事が連絡をとって会員へ周知。

協議事項は全て終了。第 8 回理事会を令和 4 年 12 月 20 日（火）と決定。令和 4 年度第 7 回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和〈総務部〉）